PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number ·

11-229301

(43)Date of publication of application: 24.08.1999

(51)Int.CI.

E01C 1/02

(21)Application number: 09-237619

(71)Applicant: HASUIKE:KK

(22)Date of filing:

29.07.1997

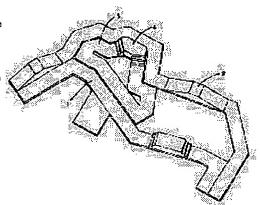
(72)Inventor: FUJIBE KUMIKO

(54) ROAD DESIGN HAVING RELIEF AND SPECIAL SHAPE FROM WHICH THE WHOLE SHAPE CAN BE RECOGNIZED

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable comfortable walking by making the whole shape of a promenade in a friendly shape such as the animal shape or the like, and providing such a relief as to be visually recognized.

SOLUTION: A promenade, a walk or the like are formed in the shape of an animal such as an elephant or the like as a whole by an outer road 1 and an inner road 2. The roads 1, 2 are provided with relief parts 2 and stepped relief parts 4, whereby in standing on the relief parts, the whole shape can be discriminated. The whole shape is the shapes of plants, fishes and shellfishes, or the abstract shape at a request. Then, a walker sets a goal of walking from the foot part of the animal shape to the back today and then walking on the ear parts tomorrow for walking. Thus, the friendly and visually enjoyable roads can be formed, the amount of motion necessary in view of health can be grasped, and further a person can enjoy walking.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-229301

(43)公開日 平成11年(1999)8月24日

(51) Int.Cl.8

殿別記号

FΙ

E01C 1/02

E01C 1/02

審査請求 未請求 請求項の数4 書面 (全3 頁)

(21)出願番号

特願平9-237619

(71)出顧人 597125900

(22)出顧日

平成9年(1997)7月29日

有限会社はすいけ 北海道苫小牧市表町2丁目1番14号 王子

不動産第3ビル4F (72)発明者 藤部 久美子

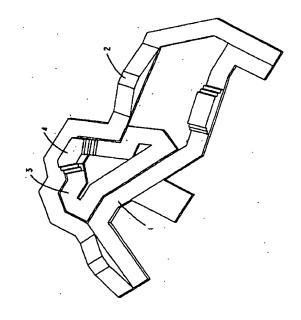
> 北海道苫小牧市表町2丁目1番14号 王子 不動産ビル4F 有限会社はすいけ社内

(54) 【発明の名称】 全体形状を認識できる起伏と特殊形状を持った道路設計

(57)【要約】

【課題】 人々に楽しく歩くことを推進させるために、 親しみやすい形状と任意の位置に立った時、形状が認識 できる起伏と折り返し部分を持ち、また形状から歩く距 雕が測れ、継続した運動のできる道路を提供する。

【解決手段】 親しみやすい形状と視覚的に全体を認識 できる道路を設計することにした。全体形状を認識する ため、起伏部と段差のある起伏部を設け、そこに立つと 全体形状を判別できることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 全体形状が動物の形で、任意の位置に立った時、全体形状が認識できる起伏を持つことを特長とする道路の設計。

1

【請求項2】 全体形状が植物の形で、任意の位置に立った時、全体形状が認識できる起伏を持つことを特長とする道路の設計。

【請求項3】 全体形状が魚貝類の形で、任意の位置に立った時、全体形状が認識できる起伏を持つことを特長とする道路の設計。

【請求項4】 全体形状が抽象的形状で、任意の位置に立った時、全体形状が認識できる起伏を持つことを特長とする道路の設計。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、遊歩道または散歩道として、人々に楽しく歩くことを推進させるために、親しみやすい形状、任意の位置に立った時形状が認識できる起伏(2)(4)持ち、折り返し部分を持つことにより歩く距離が測れ、継続した運動のできる道路の設計 20 に関する物である。

[0002]

【従来の技術】従来、遊歩道はドーナツ型または、四角 形が多かったため、同じ形状のところを回っていたのが 普通であった。そのため歩くことに飽きてしまい、継続 性のある運動になっていなかった。また、形状が視覚に より把握できないため、平面上にかかった時、認識でき ずどこをあるいているのかわからなかった。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】本発明は、歩くという 単純な行為をいかに継続させるにあたり、従来にない形 の道路を設計することにより、今日は足の部分を歩こう 明日は背中の部分を歩こうと楽しく運動ができ、目標を 持つことによる継続した運動のできる道路と立体的な形 状を設けることにより任意の位置(2)(4)に立った 時、視覚的に形状が判別できる道路を設計しようとする ものである。

[0004]

* 【課題を解決するための手段】その結果、親しみやすい 形状と視覚的に全体を認識できる道路を設計することに した。大きければ大きいほど遠くを認識しにくいため道 路の形状の限定条件として、最大距離5m以上高さ40 cmで認識できる道路の設計をした。

2

[0005]

【発明の実施の形態】本発明で設計された道路の形状の 形態を象を例にとって説明すると歩く目標を今日は足か ら背中の外回りの起伏部(2)におき、また明日は耳の 部分をあるき、最後に耳の内回りの起伏部(4)である いた全体の形状の確認ができる。

[0006]

【実施例】以下、本案の実施例について説明する。象の形状を描き、道路として形成できるような形を発明した。そこに外回りの道路(1)と内回りの道路(3)を形成した。さらに外回り内回りの道路にそれぞれ起伏部(2)と段差のある起伏部(4)を設けたことにより、起伏部に立っと全体の形状が判別できる道路である。また外回りの道路部(1)から起伏部を通り、内回りの道路部(3)を通り、起伏部(2)へ折り返す事もでき

[0007]

【発明の効果】本発明によれば、この形状で親しみやすく、視覚でも楽しめる道路ができることは、人々が健康的な生活を送る上に必要な運動量がわかり、運動量を保って、楽しく運動できることを目的としている設計なので、学校、各福祉施設、リハビリセンターなど継続した運動の必要な施設での活用と起伏部に立つことにより、視覚的に判別できる道路として設計した。

30 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図である。

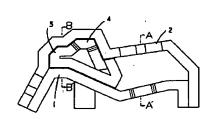
【図2】 本発明の正面図である。

【図3】 本発明の断面図である。

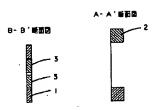
【符号の説明】

- 1 外回りの道路部
- 2 起伏部
- 3 内回りの道路部
- 4 段差のある起伏部

【図2】・



【図3】



【図1】

